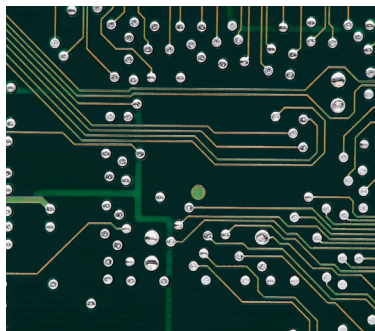
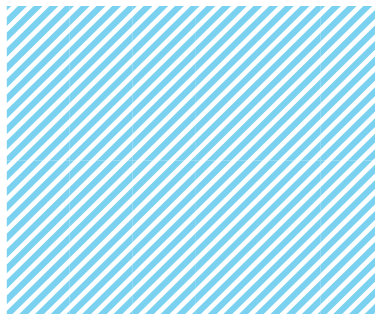
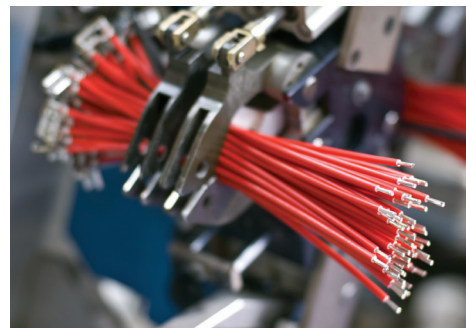
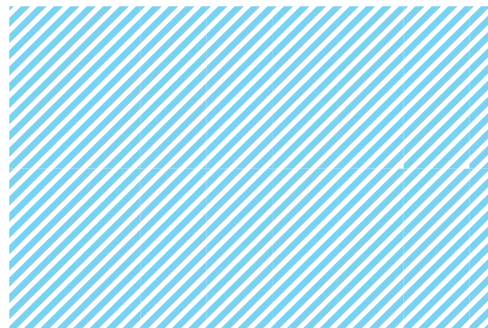




アーカンソー州誘致ガイド

アーカンソー州経済発展庁



 **ARKANSAS**

1. アーカンソー州へようこそ

美しい自然とビジネスに優しいアーカンソー
強い農林業と急ピッチで進む天然ガス開発
快適な生活環境と友好的な対日感情

2. 投資環境としてのアーカンソー州の利点

進出企業に対する州政府のインセンティブ例
アーカンソー州の利用可能な優れた物流ネットワーク

3. アーカンソー州政府の戦略的ターゲット事業部門

4. アーカンソー経済発展庁

貴社のアーカンソー州への投資アシスタント

5. (お問い合わせ先)

アーカンソー州へようこそ

アーカンソー州は米国中南部の自然に恵まれた天然資源豊富な州であり、州内の陸路、空路、鉄道、河川の交通網が発達しており、特に道路(インターステートハイウェイ)は東西南北方向に続いており、シカゴ、ニューヨーク、フロリダ、テキサス、カリフォルニアといった大市場へのアクセスが便利で、原材料の仕入れ物流にも便利です。賃金や物価が安く、労働力も豊富であり、気候も温暖で治安が良いので、米国内外の多くの企業がアーカンソー州へ進出しております。特に近年は、航空機内外装、IT、天然ガス開発、風力発電、建設機械等の分野で、大型投資が続いています。日本からは鉄鋼、自動車部品、電気製品、機械部品、食品加工、空調機器など、多くの製造業が進出しています。

美しい自然とビジネスに優しいアーカンソー

アーカンソー州は、米国中南部の美しい自然と豊かな天然資源に恵まれた州です。温暖な気候と緑豊かな森、地平線まで広がる田園、東西南北に延びたハイウェイ、鉄道、水路、空路など交通の便の良さ、物価が安く生活レベルが高い、加えて南部特有の人情味あふれるサザンホスピタリティ、第42代大統領ビル・クリントンを輩出したアーカンソー州は、ビジネスと生活をエンジョイできる数々の利点を備えています。

広さは日本の約3分の1、人口は約290万人、州の西部、北部は豊かな森林、東部は肥沃なミシシッピ川デルタ地帯で、見渡す限りの田園風景が地平線まで広がっています。州のほぼ中央をアーカンソー川が流れ、州内には6ヶ所の国立森林公園、52ヶ所の州立公園、32ヶ所の湖、800以上の三日月湖があり、沼地には木材産業を支える広大な松の密生林、美しい自然と心に映える四季の移り変わりは、人々の精神に安らぎをあたえずにはいられない程です。

強い農林業と急ピッチで進む天然ガス開発

農業、畜産、林業、鉱業などの1次産業も強く、コメの産出は全米の45%以上を占め、鶏肉、臭素材も全米第1位の生産を誇っています。また大豆、綿花、ピーカン、キャットフィッシュも全米トップクラスの生産であり、また、州西部の膨大な天然ガス資源に関しては、近年急ピッチで開発が進んでおり、開発に伴い採掘機械、パイプラインなどの関連機材、輸送、保管などの周辺事業が拡大しています。天然ガス開発だけで2008年~12年の経済効果は\$17.9B、雇用創出は11,000人を見込んでいます。

快適な生活環境と友好的な対日感情

アーカンソー州民は、米国南部と中西部の人々のベストクオリティー を組み合わせた気質を持っていると言われています。家族、教育、地域とのつながりを大切にする心、多様な異文化を受け入れる柔軟性など、日本人の気質と共通点があります。 アーカンソー州は、サザーンのおもてなしに満ちており、皆様をアットホームな雰囲気ですて迎えてくれます。州政府だけでなく、郡、市、町には企業誘致担当の経済開発部門があり、州政府と協力して誘致活動をしています。進出が決定したあとも、インセンティブから、お子様の通学まであらゆる相談に柔軟に応じます。 美しい自然や歴史的建物、人と人との温かいふれあいだけでなく、アーカンソー州は物価が安いことも魅力のひとつです。毎年フォーチュン誌の世界上位500社のトップを競っている世界最大の小売企業であるウォルマート社は、ベントンヴィル市に本社を置き、”節約してより良い生活”をスローガンにした低物価の象徴的存在です。また、アーカンソー州ではライト・ツー・ワーク適用(労働組合に加入しなくても自由に労働できる労働権法)とも相俟って安定した労働市場を形成しています。

州内には米国内有数の湖畔の温泉リゾート地であるホットスプリング市や、四季の彩りも美しいオザーク森林溪谷など、観光資源に満ちています。オザークの山あいの小さな音楽の町マウンテンビューでは、伝統的なフォーク、ブルグラス、ゴスペルなどの生の音楽を楽しめます。午後から夕方にかけて、町のダウンタウンのあちこちのコーナーにアマチュア音楽家が、ギターとイスを持って三々五々集まり、その場で即席のグループを作り、聴衆におもねることなく、マイペースで自由に歌い、演奏します。電気を使わない生の弦楽器と美しい歌声が木漏れ日の中に響き、時間がゆっくりと流れていきます。すべてが無料で、誰でも自由に参加することができます。溢れるばかりの緑に包まれた豊かな森、湖、溪谷、平野に恵まれ、国立公園(6)、州立公園(52)、ゴルフ場(125)、狩猟、川釣り、カヌー、ヨットなど、アーカンソー州はビジネスに観光に最高の活動拠点です。四季に恵まれた生活環境、物価の安さ、治安の良さ、高い医療水準と優れた教育システム、人々の友好的な対日感情など、アーカンソー州はハイレベルな Quality of Life をお約束します。(州立のアーカンソー大学の工学部、薬学部、医学部、教養学部及び付属のアーカンソー州立小児病院では、多くの日本人教授、ドクターが活躍しています。)

投資環境としてのアーカンソー州の利点

- ・ 人件費が安い(全米平均より約 20%安く、製造業平均賃金\$15.00/hr)
- ・ 物価が安い(例: Fort Smith 市の生活費は全米平均の 87%)
エネルギーコストが安い(例:電気代 5~6 セント/kw。西部州より 40~50%安い)
- ・ 優れた立地:米国のほぼ中央に位置する。大市場の東部、中西部、南東部に近く、米国人口の 3 分の 1 の市場に対し、フルタンクガス 1 回分で到達することができます。また、カナダとメキシコの間地点に位置するので、北米市場全体を容易にカバーすることができます。
- ・ インセンティブ: 税金の減免、還付、人件費の補助、州政府負担の職業訓練、融資、インフラ整備、補助、その他(詳細は後述)

進出企業に対する州政府のインセンティブ例

州政府は進出企業に対して、広範囲なインセンティブを用意しており、下記は代表的なインセンティブの例ですが、この他、各コミュニティのインセンティブもあります。大間かな計画(業種、土地、建物のサイズ、投資 と雇用規模、希望地域、概略の日程案等)を提示して頂ければ、州政府から候補物件と想定されるインセンティブをオファー致します。州政府日本事務所にお問い合わせください。(下記の優遇措置は適時変更のため、日本事務所にお問い合わせ下さい。)

1. 法令によるインセンティブ

・ アドバンテージ・アーカンソー

- 対象企業に所得税控除を提供します。
- 控除は新規雇用した従業員の給与のパーセンテージに 基づくものです。
- パーセンテージは階層によるものとします。
- 控除は5年間毎年付与されます。
- 企業は所得税負担の50%を相殺できます。
- 未処理の控除額は9年間繰越ができます。

例:階層3の企業が時給15ドルで25名を新規雇用した場合 $15 \text{ドル/時間} \times 2,080 \text{時間} \times 25 \text{名} \times 3\% = 23,400 \text{ドル}$ の所得税控除を向こう5年毎年取得

・ 税金の還付

- 認可された支出(建築材、機械、機器)に対する販売および 使用税の払戻しをします。
- 払戻しは、支払われた市税、郡税、州税より1%低い額となります。(1/8%: 環境保全 7/8%:教育)
- 企業は、市と郡から払戻しの認可および付与を受けるために、最低100,000ドルを支出する必要があります。
- 税還付プログラムは、アドバンテージ・アーカンソーまたはクリエイト・リベート(払戻し制度)のどちらかと組み合わせる必要 があります。

例:シロアムスプリングス郡の企業が100万ドルの設備投資を実施:
 $100 \text{万ドル} \times (2\% + 1\% + 5\%) = 80,000 \text{ドル}$ の販売および使用税の払戻し

・ InvestArk

- 対象となる支出(新築、増築および近代化)を基に、販売 および使用税控除を付与します。
- 企業は、アーカンソー州で設立後、最低2年以上経過して おり、最低500万ドルを投資する必要があります。
- 取得控除額は、州の販売および使用税控除(現在6%)の 0.5%増と同額とします。
- 企業はこの販売および使用税負担の50%を相殺できます。
- 未処理の控除額は5年間繰越ができます。

例:企業が1,000万ドルの設備投資を実施 $1,000\text{万ドル} \times 6.5\% = 650,000\text{ドル}$ の販売および使用税控除

2. 州政府の裁量判断で決めるインセンティブ

・ クリエイト・リベート(払戻し制度)

- 企業の新規雇用した従業員に対する支払給与総額のパー センテージに基づいて毎年現金払いをします。
- パーセンテージは階層によるものとします。
- 対象となるには、企業は新規雇用した従業員の給与として、最低200万ドルの支払給与総額を計上する必要があります。

例:階層3の企業が年間500万ドル分の支払給与総額を追加 $500\text{万ドル} \times 4.5\% = 225,000\text{ドル}$ の年間現金払い

・ ArkPlus

- プログラムの投資総額の10%に等しい州所得税控除を付与します。 - 階層に基づき、最低支払給与総額と最低投資総額の両方 が要求されます。
- 控除を使用して、企業の所得税負担の50%を相殺することができます。
- 未処理の控除額は9年間繰越ができます。

例:階層3の企業が年間500万ドルの支払給与総額を追加し、1,000 万ドルの投資を計上 $1,000\text{万ドル} \times 10\% = 100\text{万ドル}$ の所得税控除

・ カスタマイズされたトレーニングインセンティブ

- 未処理の控除額は5年間繰越ができます。各企業別にカスタマイズした職業訓練を無償で実施。州内の 33 箇所のトレーニングセンターまたは 各企業に出張して実施。
- 企業および産業トレーニングプログラム
 - 新規雇用創出または新技術の利用に専心する新規事業 および成長企業と産業のためのスタートアップ・トレーニング
 - プログラム含まれるもの:教育機関との調整、対象となる トレーニング費用、求人広告、トレーニング施設に関する 費用の償還

- 既存従業員トレーニングプログラム
 - 企業の既存従業員のスキル向上のために財政支援を行います。
 - 高学歴、社員教育、経済発展担当協議会が管理します。
 - プログラムはトレーニング参加者の時給に基づき、所得税控除を付与します。

・ 助成金

- AEDCは施設の拡張や、アーカンソー州における雇用創出 を希望する企業に、資金を貸付けまたは交付します。
- こうした助成金の中には、製造業者に対して、低・中所得 者向けの雇用創出を必須とするものもあります。
- このほか、市や郡のインフラニーズを創出する新規事業および事業拡大に対して助成金が提供されます。

・ 融資

- 産業歳入債 (IRB)
 - 企業の財務状況の健全性に基づいて、市と郡によるIRBの 発行が認められます。債券は税控除対象となり、債券の 期間中、最高65%の財産税控除が付与されます。
- 社債保証
 - AEDCとADFAは最高1,100万ドルの元本と利子の遅延のない支払いを「保証する」ことができます。保証があるために、社債のレーティングが高くなり、そのため企業の実行金利が低くなります。
- コミュニティ開発ブロック補助金
 - 製造業者の低・中所得世帯向けの雇用を創出するプロジェクトに対する固定資産融資のために、資金の貸出を行います。低金利で期間は7~15年です。

アーカンソー州の利用可能な優れた物流ネットワーク

アーカンソー州は米国のほぼ中央部に位置し、米国の大市場である東部、中西部、南部へ高速道路、鉄 道、水路、空路でのアクセスが容易です。また、アーカンソー州 はカナダとメキシコのほぼ中間点に位置し、カナダ、メキシコ への輸出品の物流も極めて便利です。

＜インターステートハイウェイ＞

40 号線、30 号線、55 号線、540 号線、530 号線を使いますと半日行程(半径約 1,000km)で米国の総人口の約半分の市場をカバーできます。40 号線は大西洋岸のノースカロライナから、Little Rock を通り 太平洋岸のカリフォルニアまで東西につながっています。30 号線はテキサスを通りメキシコへ、55 号線は北 はシカゴから南はメキシコ湾のニューオリンズを結んでいます。 さらに、現在、州の西部を南北に走る 49 号線が計画されており、完成後は、カンサスシティからニューオリ ンズを結ぶ予定です。

〈鉄道〉

1 級鉄道会社である大手鉄道会社 3 社(Union Pacific, Burlington Northern Santa Fe, Kansas City Southern Railway)に加えて 25 社の短距離鉄道会社(3 級鉄道会社)があり、州内約 4,000km を運行、全米 26 州に積み替えなしで輸送可能です。貨車からトレーラーへ(またはトレーラーから貨車へ)の貨物積み替え基地インターモーダルが州内 19 箇所に整備されており Little Rock, Pine Bluff, Van Buren では水路からの積み替えも可能です。なかでも 東部の Marion 市の Union Pacific Railroad 社のインターモーダルは最新の積み替え設備を備えており、インターステートハイウェイ 40 号線と 55 号線を走るトレーラーとの 貨物積み替えが容易です。また、Marion 市に隣接しているミシシッピ川港から全米各地へ水路輸送でき、さらに隣接の Memphis 空港内にある世界最大の航空便輸送会社の FEDEX 社の FEDEX スーパーハブ空港から全米、世界各地に航空便を運搬することができます。

〈水路〉

大型バージ運行可能な水路はミシシッピ川とアーカンソー川などの州内 1,600km に渡り、全米 24 州に大型バージでの輸送が可能です。東部のミシシッピ川では Osceola, West Memphis, Helena, Yellow Bend などの港が米国中南部、北西部、南部の港と繋がっています。アーカンソー川は年中凍結することなく、東のミシシッピ川から州内の Pine Bluff, Little Rock, Fort Smith などの公共港を経由して、オクラハマ州のタルサにつながっています。なお、貿易用の保税地域は Little Rock 港 他3ヶ所の港に設置されています。

〈空路〉

大型の商業空港は Little Rock と Rogers の 2 ヶ所で主要航空 会社が乗り入れており、ニューヨーク、シカゴ、デトロイト、アトランタなど、全米の主要都市と接続しています。日本から州の中央部/北西部にご旅行される場合は、成田から直行便でダラス、ヒューストンへ、そこで乗り換えて約 40~50 分で Little Rock、Rogers に到着します。日本から州の東部地域にご旅行される場合は、日本 - デトロイトまたはシカゴ - Memphis が便利です。日本から州の西部地域にご旅行される場合は、日本 - ダラスまたはアトランタ、フォートスミスが便利です。(フォートスミスはダラス、アトランタ、メンフィスと毎日定期便があります。) 州内には約 100 ヶ所の空港があり、そのうち 35 ヶ所はビジネスジェットの利用が可能です。なお、Memphis 空港内には国際貨物便会社の FEDEX 社の本社と同社専用のハブ 空港があり、世界各地への 航空便の発送、受け取りが可能です。

〈職業訓練〉

アーカンソー州では、職業訓練を終えた勤労意欲の高い労働者が多く、州政府は、日々高度化する“専門知識と技術”を労働者が習得しやすいように、職業訓練計画を常に見直し、改善を続けています。州内の公立大学と職業訓練施設は最先端の技術を共同研究し、21世紀の時代に求められる専門技術者、専門技能者の育成に力を入れています。

アーカンソー州政府の戦略的ターゲット事業部門

AEDCのターゲット事業部門は、知識ベースの職種をより高い賃金でサポートし、戦略的に投資を予定しています。これらのターゲット・プロファイルは、既存の強みと競争優位性に基づいて、特定のニッチ分野を広め、多角化事業を行います。AEDCのターゲット事業部門は、下記のカテゴリに分類されます。

ウォルマートのサプライヤー

アーカンソー州:ウォルマート王国の中心

2013年、ウォルマートは、以後10年間でさらに500億ドル相当の米国製製品を購入する計画を発表しました。ウォルマートの近くに生産拠点を移したいサプライヤーにとって、ウォルマートの「裏庭」ほど最適な場所はありません。

ウォルマート1号店は、1962年、アーカンソー州北西部にオープンしました。現在、アーカンソー州北西部には1,300社のサプライヤーがあり、ほぼ同州ベントンビルのウォルマート本社から48km以内にあります。

バイオサイエンス

アーカンソー州:バイオサイエンスに取り組む

アーカンソー州のバイオサイエンス企業の多くが、従業員数1~10名の小規模な研究試験機関ですが、州内には、農業関連のバイオサイエンスに関係する産業や研究機関の大規模拠点、成長を続けるバイオメディカルの拠点に加え、医療機器およびサプライ品の大手企業が存在します。

アーカンソー州は、バイオサイエンス企業に対し、有能で人件費の安い労働力を提供しています。州内にはすでに産業クラスターが存在しているため、バイオサイエンスセクターにおける新会社に必要な業務に対応できる労働力が整っています。

アーカンソー州の農業バイオサイエンス:

- ・ Riceland Foods社は、スタットガートにある世界最大手の精米、米販売業者です。
- ・ Tyson Foods社は、チキン、ビーフ、ポークなど、世界最大のタンパク質製品メーカーです。Tyson Foodsは、スプリングデール本社近くに食品安全研究所を設け、食品の試験、研究における最新技術を提供しています。

大学を拠点とする研究:

- ・ アーカンソー大学のデールバンパーズ農業食品生命科学カレッジ (Dale Bumpers College of Agricultural, Food and Life Sciences) の養鶏科学部および養鶏科学研究拠点には、教育、研究、学外講座のための複合施設があります。
- ・ アーカンソー大学モンティチェロ校のアーカンソー森林資源センターは、森林ベースの資源に

関する教育、研究、学外講座におけるアーカンソー大学のあらゆる活動を包括する中核的研究拠点です。

- ・アーカンソー大学農学部のアーカンソー農業試験場は、州規模の研究に対応し、アーカンソー州の農家、食品加工業者、関連産業のための主要な研究支援機関となっています。研究内容として、アーカンソー州の農業および関連企業に関わる家族、コミュニティ、天然資源に及ぼす問題にも取り組んでいます。

農業バイオサイエンスに重点を置くアーカンソー州の他の研究関連機関：

- ・ジェファーソン郡にある米食品医薬品局（FDA）の国立毒性研究センターは、ワシントンDC外にある唯一のFDAセンターです。同センターの研究は、毒性が疑われる薬品あるいは微生物の生物学的作用の評価、毒性を左右する複雑な機序の定義、毒性の発現における重要な生物学的事象の理解、人体暴露、感受性、リスクの評価を改善方法の開発を目指しています。
- ・スタットガートにある米農務省デールバンパーズ全米稲研究センター（Dale Bumpers National Rice Research Center）は、米国の米産業の世界市場における競争力維持を支援する研究を実施しています。
- ・米農務省ハリー・ケイ・デュプリー・スタットガート全米水産養殖研究センター（USDA Harry K. Dupree Stuttgart National Aquaculture Research Center）は、魚類の疾病、栄養および食餌の開発、薬品の登録、水質管理・生産システムにおける研究を実施しています。

アーカンソー州内で最大の医療機器メーカー、Baxter Healthcare社は、マウンテンホームにあるBaxter Internationalの子会社です。従業員数は約800名で、透析装置、使い捨ての血液容器や静脈注射容器といった医療製品を製造しています。

アーカンソー州バイオサイエンス研究所（Arkansas Biosciences Institute）は、アーカンソー州民の健康の向上に努める農業および医療研究コンソーシアムです。

- ・5つのメンバー機関（アーカンソー州子供病院、アーカンソー州立大学、アーカンソー大学農学部、アーカンソー大学フェイエットビル校、アーカンソー医科大学）の科学者が、特にタバコに関連する疾病の分野において、健康改善につながる農業、基礎科学ならびに臨床科学の研究に取り組んでいます。
- ・同研究所は、2000年のタバコ和解金法（Tobacco Settlement Proceeds Act）による主要な研究施設として創設されました。

アーカンソー医科大学（UAMS）は、州内唯一の医学部を併設する研究大学であり、大学付属病院、4つのカレッジ、大学院、7つの中核的研究拠点および研究所を擁し、研究員兼教職員が、最先端の研究成果からガン、感染症、画像診断、薬物乱用、行動上の問題に関する新たな識別、治療、予防方法を生み出しています。

アーカンソー医科大学アーカンソー・バイオベンチャーズとその技術移転機関（Technology Licensing Office）：

- ・アーカンソー医科大学の研究を人の健康に役立つ製品に活用しています。
- ・企業に対し、UAMSとアーカンソー大学リトルロック校の大学の資料、およびビジネスインキューバー施設へのアクセスを提供しています。

アーカンソー州リサーチアライアンス（ARA）は、州内で新規ビジネスを生み出し、高給職を創出することを目指した大学ベースの研究とイノベーションを推進することで、アーカンソー州により大きな経済機会をもたらすことを使命とした研究大学と民間セクターのリーダーたちによる協働機関です。2010年には、バイオサイエンスを含む多数の学術分野に対応するリサーチスカラー制度を発足させました。

インキュベータースペース：

- ・アーカンソー大学技術開発基金（University of Arkansas Technology Development Foundation）は、フェイエットビル（ Fayetteville ）のアーカンソー・リサーチテクノロジーパークを運営しています。パーク内の研究施設の1つであるジェネシスは、技術志向のビジネスインキュベーターであり、企業開発に重要な初期段階においてノースウエストアーカンソーに事業拠点を置きたいと考える優秀な技術集約型の起業家に対してさまざまなサービスを提供しています。アーカンソー大学イノベーションセンターは、特殊なスキル研修、教育、研究、技術支援を促進し、特にジェネシス・テクノロジーインキュベーター出身の技術集約型企业に対し、事務所および研究所のスペースを提供しています。
- ・アージェンタ・イノベーションセンターは、約1,400m²の共同作業スペースとテクノロジーラボを備えた施設です。リトルロック中心部にテクノロジー/起業パークを開発する計画も進行中です。

バイオサイエンス企業にとって、もう1つの重要な支援機関であるアーカンソー州科学技術局（ASTA）は、アーカンソー州の繁栄に必要な人材育成とイノベーションの推進に取り組んでいます。ASTAは、アーカンソー州内で研究を行っている企業や機関のための複数のプログラムを管理しています。アーカンソー州経済発展庁とウィンロック・インターナショナルの共同プログラムであるイノベートアーカンソーは、アーカンソー州内で技術ベースのイノベーションと雇用創出を奨励することに重点を置き、技術系の新興企業と協力して新しい発明やハイテクサービスのコンセプトを有望な営利事業に転換することを目指しています。

ASTAは、大学を拠点とする研究、社内研究、および技術ベースの新興企業における研究開発にインセンティブを提供する研究開発インセンティブプログラムを管理しています。

企業例：

- ・1つあるいは複数のアーカンソー州のカレッジまたは大学と契約し、研究を行う企業に対し、対象となる研究費用の33%に相当する所得税控除を実施
- ・連邦の研究開発税額控除の対象となる「社内」研究を実施している新規および既存の企業に対し、対象となる研究費が基準年を3年間にわたって上回り、2年連続で増加している場合に、その20%に相当する所得税控除を実施
- ・ASTAの理事会が指定する、州に戦略的価値をもたらす分野における研究に対して、年間5万ドルを上限に、対象となる研究費用の33%に相当する所得税控除を実施

さらに、ASTAが管理するプログラムに、種子資本プログラムがあります。これは、アーカンソー州にある技術ベース企業の初期の資本化または拡大を支援するために、上限50万ドルの運営資本を提供するというものです。同プログラムは190万ドルの回転出資金に限定されています。アーカンソー州の技術系企業を支援するASTAのプログラムには、その他にも、応用研究助成金プログラム、技術開発プログラム、技術移転支援助成金プログラム、応用技術プログラムセンターなどがあります。

紙、木材製品

紙で富を生むアーカンソー州

アーカンソー州にある全国規模の紙および木材製品会社であるGeorgia-Pacificは、最近2億5,000万ドル以上を投じてアーカンソー州クロセットの拠点を改修し、最新のティッシュペーパー製造技術や加工装置を採用しています。Georgia-Pacificは2013年、従業員を200人追加雇用しました。

Kimberly-Clark社もアーカンソー州コンウェイの拠点を拡大し、100の新規雇用枠を追加したほか、紙製衛生用品の製造施設に6,500万ドル以上を投資しました。他にも、International Paper、Weyerhaeuser、Domtar Industries、Potlatchといった業界大手企業が、アーカンソー州の豊富な労働力、原材料調達の利便性、競争力のあるビジネス環境と米国中央部という立地条件を生かして、州内で成功を収めています。

アーカンソー州には、木材を産出する森林が1,860万エーカー以上あり、森林の総面積は1988年以降、6.5%増加しています。アーカンソー州の木材生産量は米国南部で2位、国内では4位です。州内の森林の内訳は、オーク・ヒッコリー（42%）、パイン（29%）、低地広葉樹（16%）、オーク・パイン（11%）、シダー（2%）となっています。アーカンソー州は、紙、木材製品メーカーのために広範にわたる信頼性の高い木材資源の維持に尽力しています。

アーカンソー州は、有能で人件費の安い労働力を、紙、木材製品メーカーに提供しています。

- ・ 州の労働人口の13%は製造業に従事しています。
- ・ 労働組合加入率の低さは国内2位です。
- ・ アーカンソー大学モンティチェロ校は、米国森林監督局協会の認証を受けた森林資源スクール（School of Forest Resources）を通じて、森林資源の理学士号を提供しています。

流通とロジスティクスサービス

流通、ロジスティクス企業に有利なアーカンソー州

米国中央部という立地と包括的な輸送インフラを考えると、アーカンソー州に、発展を遂げている大規模な流通、ロジスティクスサービスセクターがあるのも納得できます。実際、州内の流通センターと運送会社には6万人以上が雇用されています。

アーカンソー州は、米国の中央部、メキシコのメキシコシティとカナダのモントリオールの間地点にあたります。

幹線道路：州間高速道路40号線は、ノースカロライナからアーカンソーを經由し、カリフォルニアまで東西を結ぶ国内の主要幹線道路です。州間高速道路55号線は、アーカンソー州東部から北はセントルイスおよびシカゴへ、南はニューオーリンズへと伸びています。また、州間高速道路30号線により、テキサスやメキシコなど南西部の市場へのアクセスが可能です。

鉄道：ユニオンパシフィック、BNSF鉄道、カンザスシティサザン鉄道の3つの一級鉄道が州内を運行しています。ユニオンパシフィックは、リトルロックとパインブラフの大部分を網羅し、ノースリトルロックに機関車整備・修理工場を有します。州内には22社の短距離鉄道会社が存在し、敷設距離は約4,300km以上となります。

水運：アーカンソー川沿いには、リトルロック、ノースリトルロック、パインブラフ、フォートスミスの4つの港があります。ミシシッピ川沿いには、オセオラ、ウエストメンフィス、マクギーの港があります。

アーカンソー州なら、半径約885kmの円周内に住む1億300万人、つまり、米国の総人口の42%を占める市場へのアクセスが可能です。主要市場の中心地には、メンフィス、シカゴ、アトランタ、ダラス、フォートワース、ヒューストン、カンザスシティ、オクラホマシティ、ニューオーリンズ、セントルイスがあります。

アーカンソー大学は、ウォルトン・ビジネスカレッジを通じ、ロジスティクスの教育と研究をリードしています。同大学には輸送・ロジスティクスの学士号やサプライチェーン小売のMBA課程のほか、国内最高峰として広く認識されているサプライチェーン管理研究センターが設けられています。また、アーカンソー州はコミュニティカレッジシステムを通じて、さまざまな研修プログラムを提供し、物流、ロジスティクスサービス業界に対応する人材を育てています。

年間収益をもとに『フォーチュン』誌が作成した米国内の大手企業1,000社のリストのうち、J. B. Hunt Transport Services、ABF Freight Systemsという2つの輸送・運送会社がアーカンソー州に拠点を構えています。アーカンソー州の雇用主上位25社は多様な業界にわたりますが、労働人口の20%は、J. B. Hunt、USA Truck、FedEx、Union Pacific Railroad、PAM Transportation Servicesなどの輸送サービスセクターに雇用されています。

実際、アーカンソー州には80以上の流通センターと22の大手運送会社があり、雇用人数は6万人以上に上ります。企業例：

- ・ ABF Freight Systems, Inc.
- ・ ACE Hardware
- ・ AmeriCold Logistics
- ・ Arkansas Best Corporation
- ・ Dillard's, Inc.
- ・ Family Dollar Stores, Inc.
- ・ FedEx Freight
- ・ J. B. Hunt Transport Services, Inc.
- ・ Scholastic, Inc.
- ・ USA Truck
- ・ Walmart Stores, Inc.

実際の店舗への配送に加え、Dillard's社はマウメルに同社唯一のEフルフィルメントセンターを構えています。

アーカンソー州には、有能で人件費の安い労働力が豊富です。州内にはすでに輸送、流通、物流の産業クラスターが存在するため、労働力はこのセクターの新企業にすぐに対応可能です。

州間道路でアクセス可能な建物は175棟以上あり、鉄道に直結する建物も40棟あります。

持続可能な建材と建具

アーカンソー州ではスムーズなグリーン化を推進

アーカンソー州は、持続可能な建築に力を入れています。それは、州内の有名な建築物がLEED認証を受けていることから明らかです。リトルロックのクリントン大統領記念センターは、州内で初めてLEED認証を受けた建物であり、フォートスミスにあるMars Petcare社の施設は、製造工場としてアーカンソー州で初めてLEED認証を受けました。また、リトルロックのダウンタウンにある高級ロフトの一角は、住宅開発でアーカンソー州初の最高級レベルLEEDプラチナ認証を受けています。こうしたプロジェクトや、アーカンソー州内および国内全域における類似プロジェクトには、それぞれの環境目標を達成するために持続可能な建築資材が必要となります。

アーカンソー州は、有能で人件費の安い労働力を製造業界に提供しています。

- ・ 州の労働人口の13%は製造業に従事しています。
- ・ 労働組合加入率の低さは国内2位です。
- ・ 製造業雇用率は米国南部で2位、国内で3位です。
- ・ 労働人口は約150万人に上り、州内の被雇用者数は2013年から2023年までに7%の増加が見込まれています。

先進的な食品製造と包装

アーカンソー州と先進的な食品製造：成功へのレシピ

アーカンソー州で食品メーカーが成功を収めている理由の1つが、豊富な労働力です。食品業界に約5万人が携わっており、製造業に従事している労働者の割合は12%となっています。アーカンソー州の労働人口は約150万人に上り、2015年までに4%増加する見込みです。

アーカンソー州には、州内で3番目に雇用人数の多いTyson Foodsをはじめ、Cargill、ConAgra、Frito-Lay、Gerber、Kraft Foods、Land O'Frost、Mars Petcare、Nestlé、Ozark Mountain Poultry、Petit Jean Poultry、Pilgrim's Pride、Pinnacle Foods、Riceland Foods、Simmons Foods、Tennessee Pride、Twin River Foodsなど、数多くの食品メーカーが存在します。

アーカンソー州には、デールバンパーズ農業食品生命科学カレッジ (Dale Bumpers College of Agricultural, Food and Life Sciences)、アーカンソー大学農学部の一部門である食品科学工学研究所 (IFSE: Institute of Food Science and Engineering)、アーカンソー州立大学のアーカンソーバイオサイエンス研究所 (Arkansas Biosciences Institute) など、農業や食品科学に関連する研究施設が複数存在します。

IFSEの使命は、「食品の加工および包装において、アーカンソー州と地域の加工業者が競争力を維持していくことを保証する、安全でエネルギー効率が高く、環境にも配慮した加工方法を促進する技術的進展を提供すること」です。

州内には、21校の4年制カレッジや大学、22校の2年制公共カレッジがあります。アーカンソー州民の約50%が、準学士号、学士号あるいは大学院の学位を取得、もしくは何らかのカレッジへの通学経験があります。

また、教育、研究施設に加え、アーカンソー州の農産物は、食品原材料を豊富に提供しています。アーカンソー州は、米国内最大の米の産地であり、ブロイラーの生産高は国内2位、ナマズ、コットン、綿実、ターキー（七面鳥）の生産高は国内3位を誇ります。

技術サポートセンター

アーカンソー州で顧客サポート

HP社は、大規模な顧客サポートセンターを設立する場所として、アーカンソー州コンウェイを選ぶにあたり、重要な要素として労働力の質、ビジネス環境、生活水準、政府の協力を挙げました。当初の発表に加え、HPはコンウェイに地域産業開発センターも追加する予定です。

Verizon Wireless社は、技術サポートを提供する大規模なコールセンターをリトルロックに構えています。この施設では約2,000人が働いており、最近、同施設に約3,000万ドルを投資しました。Fidelity Information Services社とWindstream Communications社もリトルロックの拠点に技術サポート担当スタッフを雇用しています。

アーカンソー州には、情報セクターの業務に十分対応できる労働力があります。アーカンソー大学には、デジタルシステム、インテリジェントシステム、ネットワーク構築と通信、システム解析などの分野に重点を置いたコンピューターサイエンスおよびエンジニアリングの学士号、修士号、博士号の課程があります。

さらに、アーカンソー州には約930〜3万4,000m²超のオフィス用建物が100棟以上あります。州内には、10〜10,200エーカーまでさまざまな規模の敷地もあります。

地域本社

アーカンソーから事業を管理

アーカンソー州には、世界最大の小売業者であるウォルマートに加え、『フォーチュン』誌が選ぶ米国の大手企業1,000社のうち6社が拠点を置いています。アーカンソー州は、本社業務の設立あるいは移転を検討している企業に対し、大きな資産を提供します。

アーカンソー州には、小売、輸送、食品加工、石油関連企業の本社があり、アーカンソー州の経済および労働力の多様性に貢献しています。約200の企業本社および地域本社は、3万人以上を雇用しています。これは、全労働人口の2.4%に相当し、米国全体の1.3%を大きく上回っています。アーカンソー州に拠点を置く他の「フォーチュン1000」企業は、以下のとおりです。

- ・ Tyson Foods, Inc.
- ・ Murphy Oil Corporation
- ・ Dillard's, Inc.
- ・ Windstream Communications
- ・ J.B. Hunt Transport Services, Inc.
- ・ Arkansas Best Corporation
- ・ Murphy USA Inc.

アーカンソー州で本社業務を成功させている上記企業に加え、Southwestern Energy、Southwest Power Pool、Midcontinent Independent System Operator (MISO) も州中央部に地域本社を置き、Inuvoは2013年にニューヨークからコンウェイに本社を移転しました。

アーカンソー州には、22校の4年制大学と22校の2年制カレッジがあり、有能な労働力と訓練の機会を提供しています。

アーカンソー州には、100棟以上のオフィスビルを含め、多彩なクラスAの事務所スペースがあります。アーカンソー州の事務所スペースの購入価格および賃貸料は非常に競争力があるため、州内の事業運営費用全体が低く抑えられています。CNBCによれば、同州の事業運営コストの低さは、国内2位を誇ります。

ビル・アンド・ヒラリー・クリントン・ナショナル空港では毎日120便以上が発着し、国内、海外への玄関口となる16都市へのノンストップ便が運航されています。このため、本社従業員や企業訪問者は、この市場に容易に出入りできます。また、ノースウエストアーカンソー地方空港からは、国内外の14都市へ毎日約50便がノンストップで運航しています。メンフィス国際空港も、アーカンソー州境から24km足らずの便利な場所にあり、旅行者に豊富な選択肢を提供しています。

航空宇宙・航空機

アーカンソー州：航空宇宙・航空機メーカーに最適な場所

航空宇宙・航空機は、アーカンソー州の主要輸出産業です。その理由の1つは、州が航空宇宙・航空機関連企業の競争を促進する環境を整えていることです。州内には、航空宇宙・航空機メーカーが利用できる広い土地があり、スキルの高い労働力も豊富です。

AATYC(アーカンソー州2年制大学協会)航空宇宙研修コンソーシアムは、以下を含む航空宇宙・航空機関連プログラムを提供しています。

- ・ 機体および動力装置技術
- ・ 航空機整備工
- ・ 航空機管理
- ・ 航空機動力装置整備
- ・ 航空機技術
- ・ エレクトロニクス・航空電子工学技術

ヘンダーソン州立大学には4年制の航空学の理学士号取得コースがあります。

- ・ 卒業生は、旅客機の操縦、空港管理、または機材管理の研修を受けます。
- ・ HSUの航空学部には15機の航空機と最先端のフライトシミュレーターが完備されています。

製造業従事者は州内労働者の13%近くを占めます。

アーカンソー州の特徴：

- ・ 製造業雇用率は米国南部で2位、国内で3位。
- ・ 労働組合加入率の低さは国内2位。
- ・ 労働人口は約150万人に上り、被雇用者数は2013年から2023年までに7%の増加が見込まれています。

アーカンソー州航空宇宙アライアンス (Arkansas Aerospace Alliance) は、航空宇宙業界のためのインフラ整備と職業訓練に力を入れています。

アーカンソー州には、以下の有名企業をはじめ、約180社の航空宇宙・航空機関連会社があります。

- ・ Aerojet Rocketdyne
- ・ Aviation Repair Technologies
- ・ Dassault Falcon Jet Corporation
- ・ General Dynamics
- ・ Lockheed Martin
- ・ Pratt & Whitney
- ・ Raytheon Missile Systems

航空宇宙・航空機メーカーに最適な産業用地

アーカンソー州には、滑走路を備えた建物が数多くあります。航空機を重視した施設も利用可能です。

アーカンソーエアロプレックスは、州間高速道路55号線の近くに位置するマルチモーダルの輸送施設です。約14万m²の旧エーカー空軍基地の敷地内には、オフィスパークのほか、航空電子機器修理工場、板金工場、溶接工場、塗装設備を備えた航空機産業団地、流通センターがあります。アーカンソーエアロプレックスは以下を備えています。

- ・ 6機のハンガー
- ・ ジェットエンジン用の試験施設
- ・ 空気圧縮機を備えた整備用建物
- ・ 長さ約3.5kmの滑走路

スマートグリッド技術

アーカンソー州の電力供給

米国の9つの地域送電機構の1つであるSouthwest Power Poolは、リトルロックに本社を置き、地域電力網を運営するとともに、電力網の「航空管制」に相当する機能を果たしています。同社は、管轄内の859の発電所と6,101の変電所を併せ、7万1,000メガワット以上の発電容量をリトルロックから管理しています。Midcontinent Independent System Operator (MISO) 社は、2014年、リトルロックに地域業務拠点を建設する計画を発表しました。

アーカンソー州に拠点を置くBaldor Electric社は、工業用電気モーター、機械的送電製品、駆動部および発電機の設計と製造を行っています。フェイエットビルにあるArkansas Power Electronics International社は、高密度パワーエレクトロニクスソリューションおよび製品に特化したパワーエレクトロニクス研究開発会社です。同社は、ハイブリッド電気自動車で使用するバッテリーの高容量高速充電器の開発研究について奨励助成金を受けました。

アーカンソー州の労働人口は約150万人に上り、州内の被雇用者数は2013年から2023年までに7%の増加が見込まれています。

アーカンソー州のエンジニアは、2013年から2023年までに12%以上の増加が予想されています。

州内には、22校の4年制カレッジや大学、22校の2年制公共カレッジがあります。アーカンソー州民の約50%が、準学士号、学士号あるいは大学院の学位を取得、もしくは何らかのカレッジへの通学経験があります。

アーカンソー大学工学カレッジにあるNational Center for Reliable Electric Power Transmission (NCREPT：信頼できる送電のための国家センター) は、先進の電力システムの研究を行い、プロトタイプを開発しているほか、電力事業やパワーエレクトロニクスの新興技術の教育を受けた労働力を提供しています。アーカンソー大学では、マイクロエレクトロニクス、フォトニクスの理学修士および博士課程を設け、分散型エネルギーネットワークシステムやパワーエレクトロニクスの関連企業に適した人材も育成しています。

アーカンソー州は「対象事業」に対して3つの特別プログラムを提供しています。インセンティブの例は、以下のとおりです。

- ・ 承認されたプロジェクトに関連する建築資材、機械、装置類の購入に対する消費税および使用税の還付
- ・ 最長5年間にわたる、人件費の10%に相当する譲渡可能な所得税控除
- ・ 適格な研究開発費用の33%に相当する譲渡可能な所得税控除

フェイエットビルのアーカンソー・リサーチテクノロジーパークは、技術関連企業向けの事務所および研究施設を提供しています。このパークには、以下があります。

- ・ 企業センター
- ・ イノベーションセンター
- ・ 発生技術用インキュベーター
- ・ 高密度エレクトロニクスセンター
- ・ エンジニアリングリサーチセンター
- ・ NCREPT (信頼できる送電のための国家センター)

アージェンタ・イノベーションセンターは、約1,400m²の共同作業スペースとテクノロジーラボを備えた施設です。リトルロック中心部にテクノロジー/起業パークを開発する計画も進行中です。

電気自動車とサプライヤーに重点を置く自動車産業

アーカンソー州における電気自動車への取り組み

2010年、アーカンソー大学フォートスミス校 (UAFS) の学生と教員らが、アーカンソー州に本社を置くBaldor Electric社が提供したモーターと部品を利用して電気自動車を作りました。地元の解体処理場から寄贈されたボディシェルを使用した電気自動車は、同年5月に公開されました。大学とBaldor Electric社は、電気自動車のコンポーネント設計やエネルギー利用の改善において、引き続き連携していく予定です。連携内容には、車載の高速充電システムの導入、2つの補助バッテリーのトリクル充電用のフレキシブルな太陽電池膜の統合、および速度、電圧、電流、バッテリー状態を表示するための新しいLCD計器クラスターの統合などが含まれます。

UAFSでの取り組みに加え、2010年7月にはフェイエットビルに拠点を置くArkansas Power Electronics International社が、ハイブリッド電気自動車で使用するバッテリーの高容量高速充電器の開発研究のために390万ドルの奨励助成金を受けました。

ソフトウェア開発とデータ管理サービス

ソフトウェアとデータソリューション開発に適した場所、アーカンソー州

1969年にAcxiom社が小さなデータ処理会社として創設された当時、アーカンソー州民のほとんどが、同社が世界中にクライアントを持つリーディングカンパニーになるとは予想していませんでした。そして現在、リトルロックに本社を置くAcxiom社は、世界最大規模で最も洗練されたビジネス分析とマーケティングデータベースの開発業者となっています。データの開発、保持に加え、クライアントのデータ操作を支援するソリューションの設計や実装も行い、2,000人以上の州民を雇用しています。

アリゾナ州スコッツデールに設立されたnGage Labs社は、アナリシスイノベーションセンターをリトルロックに置き、ビッグデータを利用する顧客向けの分析ソリューションを開発しています。Fidelity Information Services (FIS) 社も、リトルロックに大規模な事業所を運営しています。FISは、銀行業界向けの世界トップクラスの技術プロバイダーであり、幅広い金融市場向けに包括的なソリューション群を提供しています。

HP社は、アーカンソー州コンウェイに大規模な顧客サポートセンターを設置し、2014年には同じコンウェイに地域産業開発センターを追加する計画を発表しました。

アーカンソー大学には、デジタルシステム、インテリジェントシステム、ネットワーク構築と通信、システム解析などの分野に重点を置いたコンピューターサイエンスおよびエンジニアリングの学士号、修士号、博士号の課程があります。

リトルロックにあるアーカンソー大学のエマージングアナリティクスセンター (EAC) は、データ分析やデータ可視化を利用したビッグデータソリューションを提供しています。EACは、経営学、工学・情報技術、理学の各カレッジに関連する研究に重点を置いています。

運送機器製造業

アーカンソー州: 常に走り続ける

マリオンにあるHino Motors Manufacturing USA社 (日野自動車の米国法人) は、複数のトヨタ車向けの部品を製造しています。同社はこのほど、5,500万ドルの投資と200人の新規雇用を含む事業拡張計画を発表しました。事業拡張の理由には、アーカンソー州の労働力の質と豊富さが挙げられています。

Caterpillar社も、アーカンソー州の労働力を活用する運送機器メーカーです。ノースリトルロックにロードグレーダー工場を開設した際、同社代表は、州内における質の高い労働力と職業訓練の豊富な機会に満足していると語りました。

労働人口は約150万人に上り、州内の被雇用者数は2013年から2023年までに7%の増加が見込まれています。

- ・アーカンソー州では、住民の約12,000人が運送機器製造業に従事し、労働者の約13%が製造業に携わっています。
- ・州内の大学やカレッジ22校では、運送機器サプライヤーやメーカーへの就職に有利な課程や単位を取得できます。
- ・アーカンソー州の製造業雇用率は米国南部で2位、国内で3位を誇ります。
- ・労働組合加入率の低さは国内2位です。

アーカンソー州には、10～10,200エーカーの利用可能な敷地があり、運送機器会社の新規設立または事業拡大のニーズに対応することができます。アドバンスアーカンソーサイトは、リトルロック大都市圏とウエストメンフィスの2カ所に広大で上質な産業用地を展開しています。鉄道に直結する建物は40棟、州間道路でアクセス可能な建物は175棟以上あります。アーカンソー州には約930～20万m²の建物が275棟以上あります。これらのうち約200棟は州間道路でアクセス可能です。

太陽光発電用部品の製造

アーカンソー州で、ビジネスに太陽を

Silicon Solar Solutionsは、より低いコストで太陽電池を作るうえで、アモルファスシリコンを結晶化して大粒のポリシリコンにするプロセスの研究で世界的に認められています。そして、この研究は、アーカンソー州で行われています。アーカンソー州は、成長と進化の著しいこの業界において太陽光発電用部品メーカーが常に最先端の地位を維持していくための知力とビジネス環境を提供することができるからです。

アーカンソー州は、これらの企業に対し、製造に関する十分な研修を受けた労働力、最先端の研究、インターステートハイウェイ、鉄道および水運による強力な輸送網、ならびに国内で最も低い水準の事業コストを提供しています。

持続可能な農業

バイオエネルギーと支援産業

アーカンソー州で芽生える持続可能な農業

アーカンソー州は、バイオエネルギー燃料生産に適した場所です。アーカンソー州には、バイオエネルギー生産に利用できるバイオマスに関連した複数の成長機会があります。現在、バイオエネルギー生産で利用されている最も一般的な原料はトウモロコシや大豆であり、アーカンソー州では約3分の2の郡で大豆を栽培しています。また一方で、ウッドチップやペレット、天然の多年生牧草、農作物廃棄物、都市廃棄物、動物の脂肪および廃棄物、藻類といった第2世代および第3世代のバイオマスから作られた燃料が、長期的生産および持続可能性を考慮した最適な選択肢となっています。

アーカンソー州最大の天然資源は、州面積の50%以上を占める1,880万エーカー以上の森林がもたらす木材です。特に産業林で栽培された木をもとにした木材やウッドペレットは、最適なセルロース源であり、バイオエネルギーへの転換に利用できます。

穀類の加工から出る廃棄物をバイオエネルギー源として利用していくことも、農業の持続可能性に密接につながっている分野です。アーカンソー州には大規模な農業セクターがあるため、バイオエネルギー事業に農産物廃棄物を大量に提供することができます。実際に、カリフォルニア州コルサにあるColusa Biomass Energy社が、2008年8月に、もみ殻や稲わらをエタノールに転換して商用シリカを製造する8,000万ドルの工場をスタットガートに建設するという計画を発表しました。

農業の持続可能性に密接に関係する成長分野として、バイオエネルギー源に動物の脂肪および廃棄物を利用することも挙げられます。2010年11月、Syntroleum CorporationとTyson Foodsのジョイントベンチャー（出資比率50対50）であるDynamic Fuels LLCがルイジアナ州ガイスマーで操業を開始し

ました。Tyson Foodsは、スプリングデールに本社を置き、Tyson Foods Renewable Energyというバイオエネルギー専門の部署を設けています。Dynamic Fuelsは、Tysonから供給される動物の脂肪、グリース、植物油を利用して高品質のバイオディーゼルを生産しています。

藻類は成長が早く、その他の作物よりも油分を多く含んでおり、バイオエネルギー生産の燃料源として利用できます。また、栽培に良質の農地が不要なため、優れた原料となる可能性があります。現在、アーカンソー州の研究者は、ミシシッピ川の水を利用して藻類を栽培する方法を検討しています。

電気通信

アーカンソー州から発信

1943年、2人のアーカンソー州民がAllied Telephone社を立ち上げ、州内の電話会社のために電柱とケーブルを設置しました。しかし、2人とも、その後50年間で電気通信業界がいかに進展するかなど、思いもよらなかったでしょう。しかし、著しい進歩のなかで、AlliedはALLTEL社となり、最終的には米国内30州以上で有線および無線のサービスを提供するに至ります。アーカンソー州で急成長中の電気通信セクターの起源は、1943年の設立当時から続くシンプルな事業コンセプトにあったのです。現在、同セクターには、Verizon WirelessやWindstream社など、国内外の大手企業が名を連ねています。

アーカンソー州には、米国内23州で事業を展開し、年間収益約40億ドルを誇るS&P 500企業、Windstream社の米国本社があります。また、Verizon Wirelessは、リトルロックに約2,000名の従業員を抱える地域本社を置いています。リトルロックを拠点とする無線電気通信プロバイダー、Allied Wireless Communications社（AWCC）は、ジョージア州、ノースカロライナ州、サウスカロライナ州、イリノイ州、オハイオ州、アイダホ州の6州で80万人以上の加入者にサービスを提供しています。

これらの企業がアーカンソー州で成長、成功した理由の1つが、各社の技術とデータ業務をサポートする、安価で有能な労働力の豊富さにあります。さらに、CNBCによって国内で事業コストが2番目に低いと評価されるように、非常に魅力的な事業環境も整っています。

エネルギー蓄積装置

アーカンソー州でパワーアップを！

アーカンソー州フェイエットビルにあるArkansas Power Electronics International社は、ハイブリッド電気自動車に使用されるバッテリー用の高容量高速充電器の開発研究において奨励助成金を受けました。

アーカンソー大学工学カレッジにあるNational Center for Reliable Electric Power Transmission（NCREPT：信頼できる送電のための国家センター）は、2005年に創設され、先進の電力システムの研究を行い、プロトタイプを開発しているほか、電力事業、パワーエレクトロニクス、エネルギー貯蔵装置の新興技術の教育を受けた労働力を提供しています。

アーカンソー経済発展庁 貴社のアーカンソー州への投資アシスタント

アーカンソー経済発展庁（AEDC）は、世界の企業を幅広く支援することです。私たちの目標は、国家の経済力や世界企業のビジネスを強化するだけでなく、各企業のアーカンソー州への進出を円滑且つ円満に進めて行くことです。

私たちが提供するサービスには、情報提供、各企業に最適な立地の選択、工場やオフィスの事業計画、州政府からの補助制度（財政や税制優遇措置）、市営施設のサポートです。また、関連ライセンスへのアクセスを容易にし、スタッフのトレーニングをサポートし、地方政府とのビジネス関係を構築します。

(お問い合わせ先)

アーカンソー州政府日本事務所
(State of Arkansas Japan Office)

〒150-0001 東京都港区虎ノ門 5-13-1
虎ノ門 40MT ビル 7 階

電話：
03-4530-9815

FAX：
03-4530-9800

代表：
ニール ジャンセン (Neal Jansen)

メール：
njansen@arkansasedc.com